

漢字探検隊in東京 & オンライン「2022真夏の漢字大探検」  
(全国通算第225-230回)

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 日 程  | 2022年7月26日(火)・<br>8月10日(水)・8月20日(土) |
| 場 所  | 立命館東京キャンパス〔東京都千代田区〕<br>オンライン        |
| 参加人数 | のべ250人                              |

学校が夏休みを迎える時期に、ふだんの学校での漢字の授業とは異なる体験をしてもらおうと、3日間6回にわたる漢字の講座とワークショップを開催しました。東京都での開催は、2015年5月以来7年ぶりとなります。今回は「漢字探検隊」としては初めて会場とオンライン配信とを同時に行うハイブリッド方式を採用。東京会場と全国の参加者とが同じプログラムを楽しみました。

検索 漢字探検隊



UR  RCR

ACADEMIC CENTER FOR RESEARCH

東京＆オンライン

かん だい たん けん

# 漢字大探検



漢字探検隊

漢字大好きな子も、  
ちょっとにがてな子も集まれ!!  
この夏休みは、ちょっとちがったアプローチで、  
漢字ともっとなかよくなろう!

URL: <http://www.ur.ac.jp/~rcr/kyosei/>

## 7/26(火)・8/10(水)・20(土)

午前の部 / 10:00~12:00    午後の部 / 14:00~16:00

**【ハイブリッド開催】**  
会場またはオンライン(Zoomb)で参加できます。  
立命館東キャンパス (JR東京都日本橋1日サビター内)

【対 象】小・中・生・生・保護者、一般の方のご参加も歓迎。  
【受 講 料】1講座あたり 2,000円 (下記割引制度あり)  
【募集人数】会 場：60名  
オンライン：100名

「漢字のご先祖様にお会ひ」

古代文字の記された甲骨や、青銅版の「ブリーカ」を、会場では目撃可能展示します。



★ 3日間全6講座の中より、1つからでも選んで受講できます。

★ 保護者の方は無料。同一講座のきょうだいの参加なら、2人目から1,000円。

★ 見逃し配信で、当日都合が悪くなくても大丈夫。復習もできます。

【3日間全6講座同時特典】  
白川開久10シナリ「成り立ちとつながりで学ぶ漢字シート35」3冊セットプレゼント

**【お問い合わせ】**  
白川研文化事業事務局  
(立命館大学文化センター内研究協議室)

電 話: 075-466-3776 (平日9:00~17:00)  
FAX: 075-465-8197  
E-mail: [toyomo@ritsu.ac.jp](mailto:toyomo@ritsu.ac.jp)

**【お申し込み方法】**

- 参加のお申し込みは、WEBからお願いします。  
<https://www.formzu.net/dis/S391149499/>
- お申し込みは、QRコードからでもできます。  
※毎回内容が異なります。希望する日の内容を確認してください。

主 催：立命館大学白川開久センター研究開発 / 協 力：立命館アカデミックセンター



【7月26日午前の部】

後藤文男先生(立命館大学衣笠総合研究機構上席研究員)からは「成り立ちとつながりで学ぶ漢字①～貝はたからもの」と題して、古代はある種の貝が貨幣として使われ、そこから「財・貨・貯」などの漢字ができた理由、また貝殻を使ったうらないから「得・賀・敗」などの漢字ができたことなどの話がありました。

清田淑子先生(漢字教育士)からは、「漢字誕生物語～わたしはだあれ?～」と題して、漢字の成り立ちや「琴」のつく楽器の話、「折り紙漢字」、国字や創作漢字など、いろいろな漢字の世界のお話がありました。

# 《好奇心を満たす漢字ざんまいの3日間》

## 7月26日(火)

**午前の部 10:00-12:00**

- 「取りまきつてさがすお宝探し〜魚はたかちもの」  
講師：後藤文男（立命館大学）
- 「漢語生物図鑑よりわはたれだ！？」  
講師：清田幸子（漢学教育士）
- 夢人さんくち、3300です。
- 子どもはうらやましい！「市川大蔵」  
うらやまで生まれたか。ままだ育った  
漢字人の心のつづき。  
ちょっとだけおぼえてみよう。



(大塚順)

## 7月26日(火)

**午後の部 14:00-16:00**

- 「使ひ立てとなりて書きたる漢字さへ田から作られた漢字」  
講師：後藤文男（立命館大学）
- 「習った漢字、使えてないぞ？！&『漢字動物図鑑作り』  
講師：林あゆりこ（漢学教育士）
- 身近な食・遊びでの漢字チェック!
- ならぬといふのは、  
かなり「事情シール」を使わずに覚えて、  
きたいたの漢字動物図鑑を作ろう!



(大塚順)

---

## 8月10日(水)

**午前の部 10:00-12:00**

- 「国語典と出るとえと」  
講師：御原宏之（早稲田大学）
- 絵巻文ラリーにチャレンジ  
歌謡の「はい、ふん、を聴かせよう！」



(白)

## 8月10日(水)

**午後の部 14:00-16:00**

- 「国語・方言漢字を楽しくもう」  
講師：御原宏之（早稲田大学）
- 音韻リレーにチャレンジ  
動物の漢字をあみそう!
- 「1枚の紙に30文字(ハルカ)をつくる」  
(漢学教育士による漢字アラブドゲーム)



(白)

---

## 8月20日(土)

**午前の部 10:00-12:00**

- 「国語典と出るとえと」  
講師：御原宏之（早稲田大学）
- 絵巻文ラリーにチャレンジ  
歌謡の「はい、ふん、を聴かせよう！」
- 「漢学教育士によるイキ大戦」  
【問題】のなかから生まれた漢字は?



## 8月20日(土)

**午後の部 14:00-16:00**

- 「国語・方言漢字を楽しくもう」  
講師：御原宏之（早稲田大学）
- 音韻リレーにチャレンジ  
動物の漢字をあみそう!
- 「友達の多い少ない」劇で漢字を学ぶ!  
児童経験の豊富な子ども、母の節の  
一足先も、みんな大活躍!  
大団円の幕端をタテしめながら、  
何種類の手を合はれたるか?



①友の[すし]を  
②漢字がしら〜と〜

**行けば星はどろし、**  
**漢字探検隊になろう!!**

- 漢字探検隊は参加組に応じて異動観戦レベルアップ。そなたに漢字探検隊グッズプレゼント。
- 漢字探検隊は参加組に応じて異動観戦レベルアップ。そなたに漢字探検隊グッズプレゼント。
- 漢字探検隊は参加組に応じて異動観戦レベルアップ。そなたに漢字探検隊グッズプレゼント。



**菅原 空之**（さきはらのくみゆき）

早稲田大学社会科学研究科専攻学芸学部  
早稲田大学総合文化研究センター・遊楽設計チーム  
専任教授として、「漢字がマンガでわかる」「漢字がう  
まるまるいっしょ」等の著書がある。(言語ジャーナリスト)



**西村 勇**（にしむらゆう）

①独立型小児発達症治療施設院長兼上級専門医  
元立命館大学病院医師  
②独立型小児発達症診療から看護士を経て、脳心身障  
害の小児科臨床科の主任医長になる。神戸MHIグループ  
の代表取締役社長を務める。「コトを伝える力」を大切にする。元出版者。



## 【7月26日午後の部】

後藤文男先生からは「成り立ちつながりで学ぶ漢字②～田から作られた漢字」と題して、「男・魚・果・細」など、今では同じ「田」がつく漢字でも、その成り立ちは全くちがうことのお話がありました。

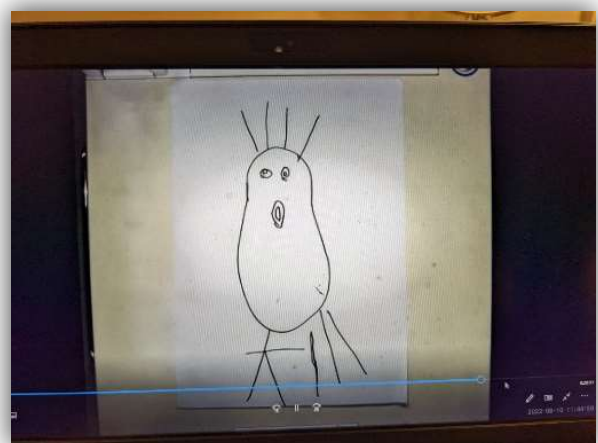
植木ゆりこ先生(漢字教育士)からは、「習った漢字、使えているかな?」と題して、小学校1年生で学んだ漢字を使った漢字テストが行われました。最初は簡単だったテストもだんだん難しくなり、漢検1級相当の「木耳」などの読みにはお手上げという参加者も少なくありませんでした。そして「漢字動物図鑑を作ろう」と題して、動物シールを貼ってその動物の名前を漢字で表記するオリジナルの図鑑を作りました。



## 【8月10日午前の部】

坂本陽子先生(漢字教育士)によるもりだくさんのプログラムでした。まずは「古代文字体操一・二・三」。一から十までの漢数字の成り立ちを動作に取り入れた体操で体をほぐしました。そして「漢字ベジベジタブル」と題した野菜にまつわる漢字の話。最後は「つつい思い出しちゃう部首の歌」。

笹原宏之先生(早稲田大学教授)による「漢和辞典に出合えると①」というお話。あるものの形が記憶だけによりどんどん変わってしまう「象形文字リレーにチャレンジ」は、古代文字が現代の楷書に形が変わっていく様子をほうふつさせました。また江戸時代の字書に記載されている謎のもじ「えい・ふん」の使い方を考えようという話では、参加者からもさまざまなアイデアが寄せられました。

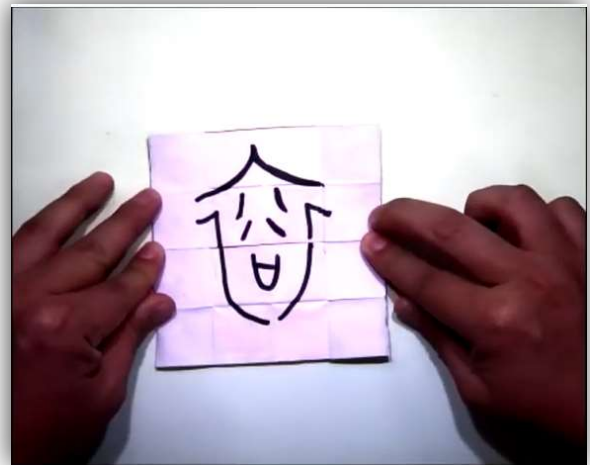




## 【8月10日午後の部】

笹原宏之先生から「誤字・方言漢字を楽しもう①」と題して、「『セン門、ハク情』に点にあるかないか」「方言漢字」「渋谷・シブヤかシブタニか」など、ふだんの漢字の授業ではなかなか聞くことのできない楽しい話をしていただきました。

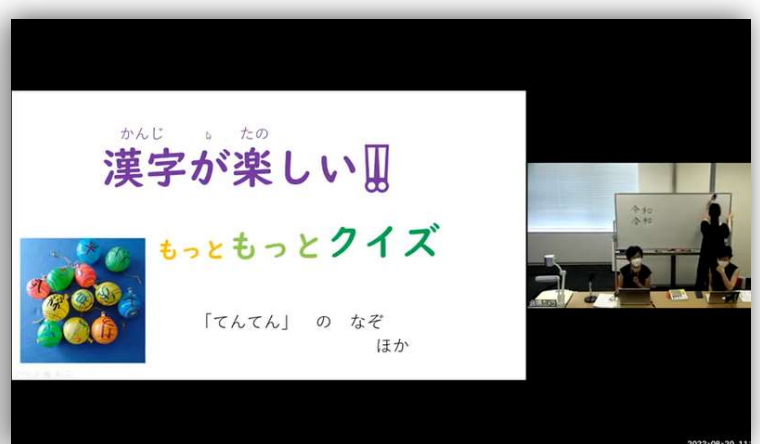
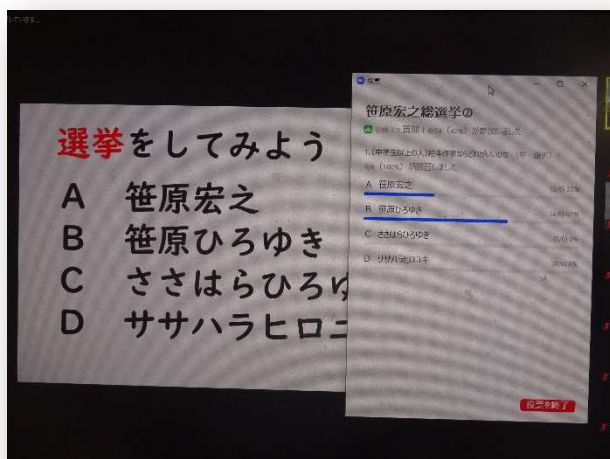
後半は、まず四方佐知子先生・清田淑子先生・坂本陽子先生らによる寸劇「サンサン・スイスイ」。小学3年生のペッチャンがワの国のおっちゃんと、カンの国からやってきた使節の発する言葉に右往左往する様子を通して漢字の伝来と音・訓との結合をコミカルに描きました。そして「パタパタ漢字パズルを作ろう」として、4枚の紙を使ってパタパタとめくることのできるパズルを作りました。



## 【8月20日午前の部】

笹原宏之先生による「漢和辞典に出合えると②」と題して、「『𠩺、凸、凹』は漢字なの?」「『令和』の字、まちがってない?」「麿は公家でおじやる」など前回とは異なる話題が満載でした。またZoomミーティングの投票機能を使って会場とオンライン参加の皆さん「笹原宏之」の名前を4種の文字遣いで表記し、「政治家ならどの表記がいい」「ミュージシャンなら」と投票を行ってもらいました。

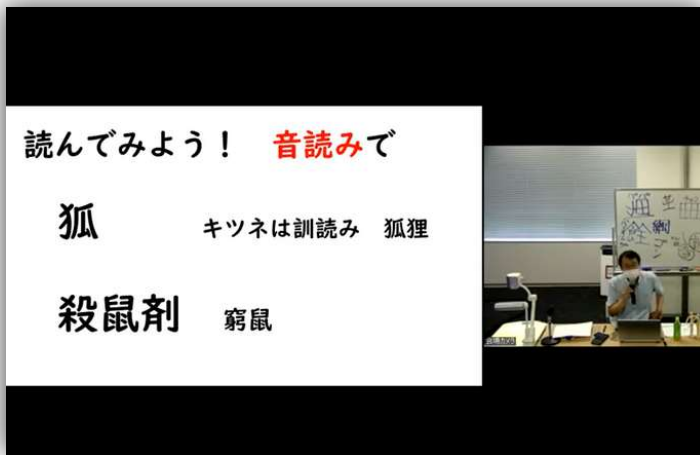
後半は、清田淑子先生らによる「漢字クイズ大会」。漢字につく「点」に注目したものや、「密を避ける漢字ジェスチャー大会」など、漢字の成り立ちや形のちがいを考えるクイズを楽しみました。



【8月20日午後の部】

笹原宏之先生による「誤字・方言漢字を楽しもう②」。「幽霊漢字」「『狐』の音読みは?『殺鼠剤』は何と読む?」「創作漢字を作ってみよう」「プディパラノプピト」など、楽しいお話をたくさん聞きました。

四方佐知子先生からは「注文の多いすし屋で漢字ざんまい」。画面に登場した回転寿司の皿をとって、そのネタに関わる漢字にちなんだ話やクイズを行いました。



オンラインの参加者もZoomミーティングのチャット機能を駆使したり、自分の書いた文字を画面に見せたりして、積極的に参加していました。会場では参加者が講師と直接話ったり、会場に展示した甲骨や青銅器のレプリカ、「漢字五万字」の表、「漢字回転しない寿司」「おみくじ&ジュース販売機」などを熱心に見たり触ったりしていました。

「漢字探検隊」の新しいスタイルとして、定着させていきたいと思います。

